

(一般屋内用)

誘導灯コンパクトスクエア用吊具

保管用

FP01525C・FP01550C・FP01575C・FP01625C・FP01650C・FP01675C

●器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

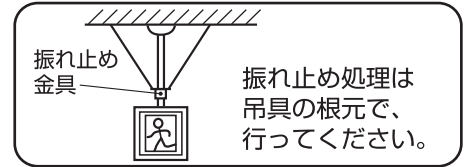
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

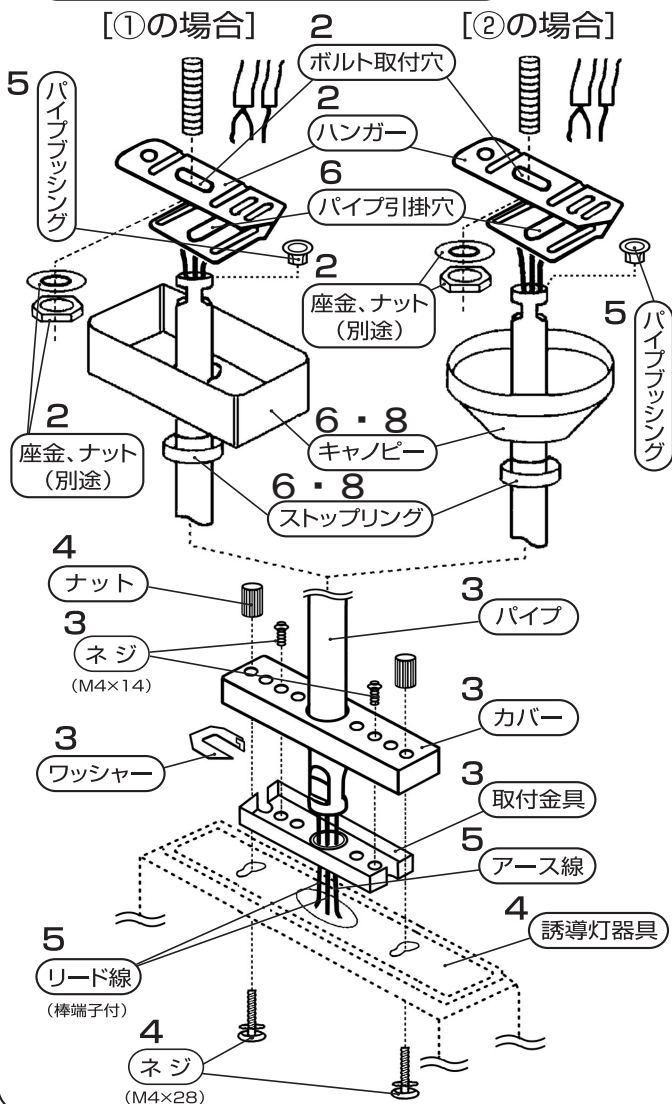
- 施工は、施工説明にしたがい確実にを行う。
施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 吊具を改造しない。落下の原因となります。
- 傾斜天井・壁面への取り付けはしない。天井取付専用吊具です。落下の原因となります。
- 適合器具以外使用しない。落下の原因となります。
(器具の取扱説明書またはカタログにてお確かめください。)
- 開放廊下等、風の強い所では振れ止め処理を行う。落下の原因となります。(振れ止め処理用の金具を手配してください。ワイヤーは別途)
- 電源線の接続後の絶縁は確実にを行う。
感電・火災の原因となります。
- 単線とより線の直接接続(ねじり接続等)はしない。必ず専用工具で圧着すること。
火災の原因となります。



注意

- 直接日光のあたる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所、屋外では使用しないでください。落下の原因となります。落下・感電・火災の原因となります。

各部のなまえと取付方法



注) 左記の①、②は以下の品番を表します。

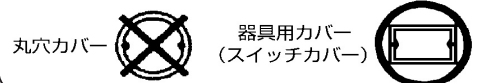
- ①… FP01625C・FP01650C・FP01675C
- ②… FP01525C・FP01550C・FP01575C

1. 取付前の確認

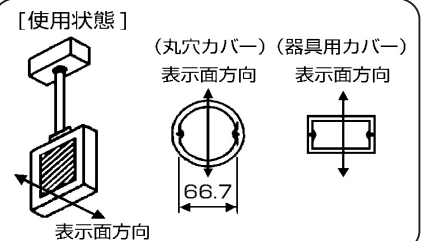
- 許容荷重(15kg)に十分耐えるよう取付部の強度を確保する。不備があると落下の原因となります。

- ボックスに取り付ける場合は、ボックス用のカバーをご使用ください。

FP01625C・FP01650C・FP01675Cの場合、丸穴カバーは使用できません。

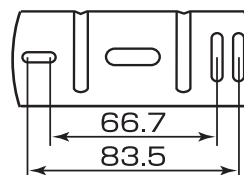


- ネジにて取り付けされる場合は、誘導灯の表示面の方向とボックス、カバーの方向が一致しているか確認してください。



2. ハンガーの取付

- ハンガーをボルト(W3/8またはM10)またはビス(別途)にて天井に確実に取り付けてください。不備があると落下の原因となります。



- 66.7と83.5の穴はボックス専用取付穴です。(ボルト取付の場合、回り止め用)として使用ください。

3. カバー・ワッシャー・取付金具の取付

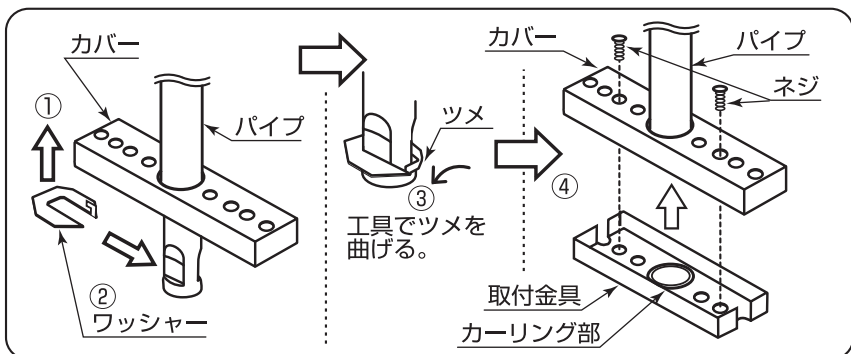
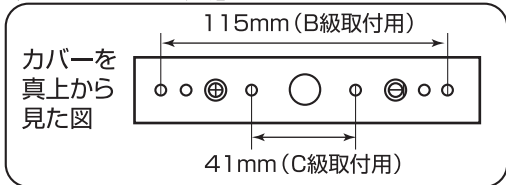
- ①パイプにカバーを通す。
- ②ワッシャーの溝部分をパイプに挿入する。
- ③抜け防止のためツメを工具で曲げる。(裏面へ続く)

(表面より続く)

- ④取付金具を図のようにセットし、同梱のネジ (M4×14) で取付ける。
(カーリング部をパイプ穴に合わせてください。)
不備があると落下の原因となります。

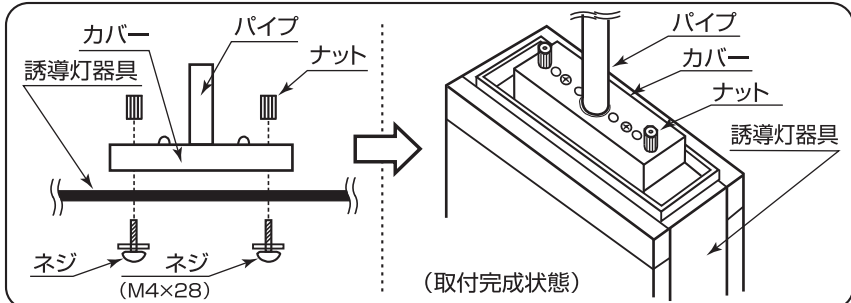
4. 誘導灯本体の取付

- カバーを同梱のネジ (M4×28) ・ナットにて誘導灯器具に固定する。
接続が不完全な場合は火災の原因となります。
- 誘導灯器具により、カバーの取付穴が違いますのでご注意ください。



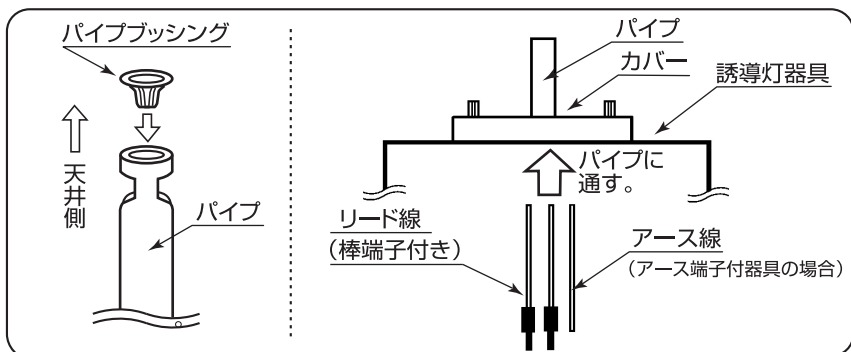
5. リード線の接続

- パイプの天井側 (ハンガー取付側) に同梱のパイプブッシングを取り付ける。
パイプブッシングは確実に取り付けてください。感電の原因となります。
- 同梱のリード線の棒端子付きでない側とアース線 (アース端子付器具の場合) を誘導灯器具よりパイプに通す。
- 棒端子付を使用し、誘導灯の端子台に接続する。
- アース線 (アース端子付器具の場合) を誘導灯のアース端子に接続する。
(詳細は誘導灯側の取扱説明書参照)
- 接続が不完全な場合は火災の原因となります。**



6. パイプの取付

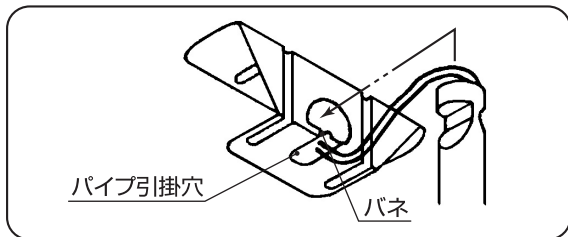
- パイプにストップリングとキャノピーを通す。
- ハンガーのパイプ引掛穴にリード線を通した後、パイプを確実に取り付ける。
- パイプが抜け落ちないことを確認ください。
不備があると落下の原因となります。



7. 電源線・アース線の接続

- 電源線・器具口出し線・アース線 (必要に応じて) 接続する。
- 接続部の絶縁を確実にを行う。
D種 (第3種) 接地工事が必要 (LED 誘導灯は不要)
- 口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと。
- 口出し線の線種：ビニル絶縁電線
電源線の線径：0.75 mm² アース線の線径：1.25 mm²

警告 接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。



8. キャノピーの取付

- キャノピーを天井面に押し当てストップリングにて固定する。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 吊具を改造しない。落下の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しない。強度低下による破損の原因となります。

注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 3~5年に1回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。

お手入れ **注意** (必ず電源を切ってください。感電の原因となります。)

- 吊具の清掃について……………水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損の原因となります。

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真 1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441(フリーダイヤル)【受付時間】月~土/9:00~18:00(祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460(FAX) help desk for foreign in japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)